

奥美濃最高峰に広がる高齡級のブナ群落

能郷白山ブナ生物群集保護林

設定目的

能郷白山（二、六一七メートル）周辺には、ブナを主体とし、サワグルミやトチノキ、亜高山性植物が混生している高齡級の天然林が分布しています。

これらの希少な天然生のブナ群落を有する森林の保護・管理を一体的に行っています。

地況・林況

能郷白山は、岐阜・福井県境に跨がる奥美濃の最高峰です。当保護林は、山頂から温見峠（ぬくみとうげ）に至る稜線より岐阜県側の北東斜面、及び根尾西谷川（ねおにしたにがわ）を挟んだ南斜面に位置しており、総じて急傾斜地となっています。

日本海型の気候の影響を強く受けており、岐阜県でも代表的な多雨・豪雪地帯です。

シリーズ

中部の保護林(第29回)

所在地
岐阜県 本巣市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。